

(5歳児)

# 干し柿



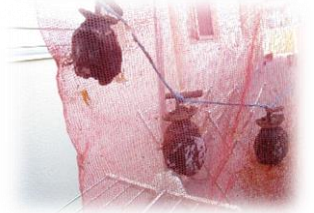
H29.11.21

いつも保育園の子どもたちを温かく見守ってくれている当法人の評議員 渡邊さんが、干し柿用に柿を下さいました。昨年はカラスに食べられてしまいましたが、今年はカラスに食べられないように渡邊さんがあみまできてくださったおかげで無事においしい干し柿ができあがりました。



渡邊さんから頂いた柿を、保育者が子どもたちに見せると「これなんだろう?」「これ、りんご?」と、子どもたちからいろいろと質問がありました。丸いままの柿を違う果物と間違える子どもも多く保育者が「これは、柿だよ。」と、話をすると「え〜!」とびっくりする子どもいました。

バルコニーで風に揺れる干し柿を見て、「あれ・・・色が変わったよ!」と、子どもたちは気が付いたことを保育者や友だちに話してくれて、日に日に変化する柿を観察しながら干し柿になるのを楽しみにしていました。



お友だちみんなで出来あがった干し柿を、順番に見ました。

「何にも、においはしないね。」「白くなってるよ!」「本当に甘いのかな・・・。」などなど・・・初めて干し柿を見るお友だちもいました。



「あまいね。」「グミみたいに、もちもちしてる。」と、子どもたちは嬉しそうに冬ならではのおいしい実りをみんなで美味しくいただきました。これからも、地域の方のとの触れ合いを通して、子どもたちに人とかわるることの大切さを伝えていき、いつも見守ってくれている方がいるということに感謝しながら子どもたちと過ごしていきたいと思ひます。